

家庭菜園

あなたもチャレンジ



園芸研究家
成松次郎

タアサイ 霜に当たるとおいしさが増す

図1 畑の準備



図2 種まき(秋まき)

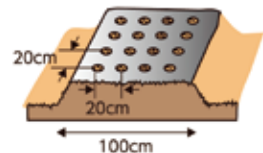


図3 間引き

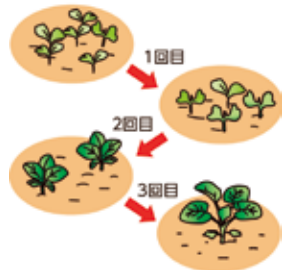


図4 追肥

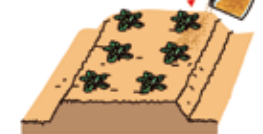


図5 収穫



タアサイはツケナの仲間で、中国語で「塌菜」と書きます。「塌」は「つぶれる」という意味です。葉は平たく杯状に広がっており、さじ状で縮れがあり、日本の野菜では「キサラギナ」に似ています。チンゲンサイと共に、代表的な中国野菜です。

【品種】品種分化が少なく「緑彩一号」(サカタのタネ)、「タアサイ」(タキイ種苗など)として販売があります。

【畑の準備】種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分12%程度)100gを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。次に、幅1m、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

【種まき】春まきでは条間15cm、株間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします(図2)。発芽まで土が乾かない程度に灌水し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。

種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

【間引き】1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします(図3)。

【追肥】大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします(図4)。

【病害虫防除】アブラムシやアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはアファーム乳剤などを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取りま

間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします(図2)。発芽まで土が乾かない程度に灌水し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。

種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

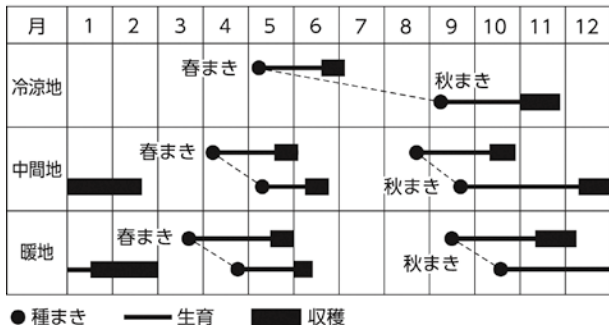
【間引き】1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします(図3)。

【追肥】大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします(図4)。

【病害虫防除】アブラムシやアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはアファーム乳剤などを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取りま

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

栽培カレンダー



【収穫】春まきでは株が立性になり、草丈25cmくらい、秋まきでは、葉は大きく広がり開張性になり、上から見て直径20cmくらいから収穫を始めます(図5)。寒い時期になるとおいしさが増してきます。収穫後は広がっている葉を内側につぶめてひもで縛ると扱いやすくなります。

JA全農しが長浜農機センター 臨時休業のお知らせ

臨時休業日：8月12日(金)・15日(月)

※祝日および土日を含め、8月11日(水)～15日(月)までを休業日とさせていただきます。

今後とも組合員様にご満足頂けるサービスを提供できるよう努めて参りますので何卒ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

JA全農しが長浜農機センター
住所 長浜市小谷丁野町360番地
TEL 0749-78-1008

お急ぎの際の連絡先

JA全農しが 農業機械課
住所 野洲市小篠原大岩山5-2
TEL 077-586-7014

ご不便をおかけしまして
申し訳ございません

